自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173700261				
法人名	有限会社 サービス企画				
事業所名	グループホーム なかよしの家				
所在地	虻田郡洞爺湖町栄町51-1				
自己評価作成日	平成26年2月26日	評価結果市町村受理日	平成26年4月3日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action kouhyou detail 2013 022 kani=t 基本情報リンク先URL rue&JigvosyoCd=0173700261-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

(参考項目:28)

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 26 年 3 月 17 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1ユニットで小さいですが、小規模ならではのアットホームな雰囲気に中で関係を深め日々過ごしています。 食事は地元の新鮮で安全な食材が並び食欲をそそる食事を提供しており健康の配慮を しています。「地産地消」で「健康長寿」を実践しています。 低所得者への配慮として、利用料金で設定しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

役所と消防署のエリア内にあり、建物の造りは広い間取りでゆったりとしています。 2階が居室で1階が食堂、従って全員が別の雰囲気の中に集まって食事をするスタイ ルで自然に体を動かしています。利用者同志が仲良く管理者を中心に生活をつない で、生き生きと楽しく暮らしています。居間には食卓の椅子の他に、一人ひとりの肘 掛椅子がぐるりと置いてありそれぞれの利用者の安心した居場所になっています。遠 赤外線暖房、浄化された水、スプリンクラーの設置など、体に優しい健康的な生活環 境になっています。さらに特殊浴が出来る装置が設置されて、重度の利用者も入浴を 楽しんでいます。厨房に専門の職員を配置し、他の職員が利用者に関われる時間を多 く持つように工夫されています。終末ケアに取り組み、実績が職員のケアのレベル アップにつながっています。

V.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目		検し	たうえで、成果について自己評価します		
	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目	↓該釒	取 り 組 み の 成 果 当するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の ② 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない 1. 毎日ある	 	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない 1. ほぼ毎日のように
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある	O 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	0	2. 数日に1回程度 3. たまに
	(参考項目:18,38)	4. ほとんどない 〇 1. ほぼ全ての利用者が		(参考項目:2,20) 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係		4. ほとんどない 1. 大いに増えている
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが	65		0	2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない 〇 1. ほぼ全ての利用者が		(参考項目:4)		4. 全くいない 1. ほぼ全ての職員が
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが
	(多有項目.30,37)	4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が	-			4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない 〇 1. ほぼ全ての利用者が	-		0	4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての家族等が
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむれ満足していると思う		2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが
_	(参考項目:30,31)	4. ほとんどいない 〇 1. ほぼ全ての利用者が	_			4. ほとんどできていない
32	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが				

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果

自己	外部評	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価	価	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.	理念	に基づく運営			
1		をつくり、官理者と職員は、その理念を共有して美 践につなげている	理念についての内部研修(勉強会)を開催し、管理者・職員共に話し合い共有している。常に目の届く場所に提示してあり理解と確認しながら実践に努めています。(玄関・食堂・宿直室に提示)	に掲示しています 管理者と職員け共に話し合い	
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流 している	毎月傾聴ボランティア・ハーモニカボランティアの 方が来荘してくださりお話や歌等で交流を図ってい ます。また、歌の慰問や虹の会の慰問などいろんな 方が訪問してくださっています。小学校の学芸会の お誘いがあったが今回は参加できませんでした。	ンティアが来訪して利用者の楽しみになっています。 傾聴ボランティアやハーモニカの演奏はなじみ	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	一般の方から認知症の人に対する相談や助言をいつ でも受け付けており対応しています。		
4		価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	に参加いただいております。専門分野の方からの情報を頂き災害に時に対するアドバイスや法改正につ	2ヵ月に一度、行政と関係機関、消防署も加わり単にホームの報告のみならず、意見交換を行い、記録が職員に回覧されています。	出席者の顔ぶれが固定化しがちです。家族への参加 呼びかけや地域住民の参加を期待します。
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことがあるごとに役場や消防署へ行き相談にのって頂いています。運営推進会議にも毎回参加頂き日々連携を密に取り組んでいます。		
6		代表有のよび主での職員が「指定地域留着空り一 ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。西胆振広域連合会や外部 の身体拘束関連研修に職員交代で参加し、内部研修 で共有し実践に努めています。玄関の施錠は夜間の み防犯上施錠しますが、日中は自由に出入り出来る 環境になっています。	欠席者にも内容の共有化を図っています。身体拘束 をしないケアを実施するようにしています。玄関は	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について 学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐 待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止 に努めている	内部、外部研修等で「高齢者虐待防止法」について 学ぶ機会を持つようにしています。また、日々の言 葉使いやケアの方法などその都度スタッフ間で話し 合いを設け防止に努めています。		

自己	外部評	項目	自己評価	外部	評価
三評価	評	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援 している	成年後見制度を利用している方がおり、内部研修で権利擁護について学ぶ機会を設けたが、再度学ぶ機会を設け制度について理解を図っていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	プバーとも等な雑誌を取りています。		
10		反映させている	玄関に意見箱を設置しています。ご本人やご家族からの意見や要望があった時は管理者に伝え、申し送りやミーテイングなど活用して情報を共有しています。また、毎月のなかよし便りでご本人の状況や体調などを知らせています。	めぐって語り合っています。ホームのお便りに個別のメッセージを添付し、家族の反応を聞く様にしています。ほとんどの家族はホームに対して信頼度が高く安心して利用者の生活を見守っています。	
11	,	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーテイングや必要に応じて意見、提案を聞き入れ業務に反映させています。また年に一度(4月)、職員との個別面談を開催しています。		
12		代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務	職員個々が向上心を持って働けるよう環境整備に努めています。資格取得についても積極的に進めています。職員間の調和を図るため食事会や歓送迎会等を開催しています。年1回健康診断の実施を行っています。		
13	/	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	各種研修案内を職員に伝え希望を募っている。内部 研修を行い働きながらトレーニングしていくことを 進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている			

自己評価	外部	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価	埃 日	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安	اناخ	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	$\left/ \right $	いること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づくりに努めてい る			
16		ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	況報告をするなど信頼関係が築けるよう努めていま す。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前には事業所の見学を勧めており、雰囲気や、過ごし方等見て頂き必要としているサービスに繋げていきます。その方にとって必要な支援・環境等関係専門職と連携を取りながら対応をしていきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を介護される一方の立場に置かず共に生活しているということを心がけ、日々の生活から一緒に笑い、悲しみを分かちあえるような信頼関係を築いています。		
19	$\left/ \right $	本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族との電話連絡や面会時には日々の暮らしぶり や気が付いたことを報告しご本人を支えていく関係 を築いています。面会時にはお部屋でゆっくりと過 ごして頂けるような配慮をしています。		
20		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	隣の方々の来訪はいつでも歓迎しており、自由に会	新聞販売店が併設されており、地域で馴染みの方が 来訪されます。知人友人がホームを理解して良い関 係ができています。利用者の個別性を重んじて関係 が途切れないように支援をしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、孤立することなく交流 が図れるようにレクレーションの参加の声掛け、お やつの時間、共同作業等常に気を配りながら一緒に 過ごし支えあえるように努めています。		

自己	自		自己評価	外部	評価
評価	評価	, -	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたご家族の方が来訪されたり関係を続けています。		
Ш.	そ0	カ人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	どから思いや要望をくみ取りるよう努めています。 ご家族との情報交換やお話を聞きながら、その人ら しい生活が送れるよう支援しています。	出来る限り利用者に寄り添い、想いを把握するようにしています。それを職員が共有し、本人本位にケアに活かした支援をしています。食べ物の好みなど食事に活かしています。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、知人、関係者などから積極的にアセスメントしています。わかりにくい言動にもご家族の情報から理解に繋げ把握に努めています。		
25	/	〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	現在の状況を常に見極めながら、ミーテイングや申 し送り等を活用して利用者一人ひとりの生活リズム や心身状態の把握に努めています。出来ることに視 点を置き自尊心が高められるような支援をしていき ます。		
26		ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ	ご本人やご家族の要望、希望を聞き取り十分取り入れられるように心がけています。毎月のミーテイングではカンファレンスを行いスタッフからの情報をまとめ、モニタリングの際には再度聞き取りを行い現状に即した介護計画を作成しています。3ヵ月毎の見直しや、変化時に即した計画を作成しています。	の意見・記録や家族の要望、関係者の意見を参考に して3ヵ月毎に作成しています。現況の変化には即 対応して、状況にあった本人本位の体制に作り変え	
27		個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケース記録、バイタル表、食事量、水分量、排便の確認等を活用して日常の様子や心身状態の変化の把握に努めています。ご本人の言葉などを明記して情報の共有を図りサービスにあたると共に介護計画に生かしています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の面会時、一緒に食事を摂る時には食事の提供をしたり、外泊される際の注意点をお伝え支援しています。その時々の柔軟な対応を行っております。		
29	/	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの慰問、近隣住民との交流などフォーマル・インフォーマルを問わず交流を図るように努め、かかわりを大切にし、豊かな暮らしを楽しめることが出来るよう支援しています。		
30			ご本人やご家族の希望を伝えながら、2週間に1度の協力医の往診、定期的なかかりつけ医の受診体制を整えている。常にかかりつけ医の医療機関関係者との連携を取りながら適切な医療を受けられるように支援しています。	形外科、歯科、眼科など必要に応じて外来受診を支	

自己	外部評価	項 目	自己評価	外部	評価
評	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	週1度の訪問看護の体制を整えており、入居者の方の状況を伝え、指示やアドバイスを頂いています。 スタッフ一人ひとりが積極的に日常のケアや質問が あれば尋ねています。緊急の際も電話相談をして頂 いています。		
32		係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている。	利用者が入院された場合、安心して治療できるように医師、看護師へ日常生活の様子やご本人の情報を提供しています。経過報告や様子観察の注意点等のアドバイスを頂き退院後対応に備えています。ご本人やご家族を中心にし、病院関係者・かかりつけ医・訪問看護師との連携を密にしています。		
33		重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる		分に医師を交えて話し合い、事業所として出来るこ	
34		利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、 実践力を身に付けている	消防署で開催されている救命講習をスタッフ数名が 受講されていますが、全員受講の方向で取り組みたい。		
35		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと	年2回の避難訓練を実施している。ホーム周辺に協力員もおり、隣接している役場、消防署とも協力体制が整っています。スプリンクラー・火災通報電話機の設置もしており、スタッフ全員が取扱いの説明を受けています。	スプリンクラー設置、調理器具の電化など十分火災	近隣の火山噴火の災害対策を念頭において、利用者が様々な居場所の想定で、訓練のシュミレーションを期待します。
)人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
		一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	生活が送れるように支援しています。		
37		日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	利用者の表情や言葉から思いや気持ちをくみ取るように努めています。自己決定が出来るような場面つくりや言葉かけにもわかるような働きかけをしています。		
38		人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にし、その日の体調面に配慮をしながら起床時間や食事の時間等個人のペースに合わせその人らしい生活が、送れるように支援しています。		
39	/	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように	散髪ボランティアの方が来所し、髪を切っています。日常的にスキンシップを図りながら爪切り、耳掃除、整髪等を行っています。着替えの時にはご本人に選んで頂き、選ぶことが困難な方には季節にあった服を着て頂くように支援しています。		

自己評価	外部	、 3 項 目	自己評価	外部	評価
評価	評価	块 口	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み	利用者の嗜好の把握に努め、食べたいものや地域の 新鮮な魚介類や野菜を使用しています。イモの皮む きやテーブル拭きなど出来ることは共にしながらス タッフと一緒に食事を楽しんでいます。		
41		確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	一人一人に合わせた食事量、水分量をバイタル表に記録し把握に努めています。個々人の体調や摂取状況に合わせお粥・軟食・刻み・トロミなど形状を変え提供をしています。		
42		ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	口腔ケアを起床時、朝食後、昼食後、夕食後に一人 一人に合わせた道具使用して頂き、利用者の力に合 わせた支援を行い口腔内の清潔保持、臭いが生じな いように口腔ケアをしています。		
43		排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介護度の高い方が多い為排泄の自立が困難な状況にありますが、一人一人の排泄パターンを把握し表情や動作など見逃さず、さりげない声掛けを行い、尊厳やプライドを気づ付けないような配慮を行っております。	の利用者には出来る限り自立をと、個別の排泄パターンを把握して支援しています。使いやすいトイ	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	水分摂取の促しと食物繊維の多い食材や乳製品を積極的に提供すると共に、適度なストレッチや体操、散歩、歩行運動などを行うようにしています。		
45		しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決め てしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日や時間帯は決まっていますが、楽しく入って 頂いています。全介助の方も楽しく入浴できるよう に機械浴で支援を行っております。利用者の方の状 況に合わせて清拭やシャワー浴なども実施ながら清 潔を保つように支援を行っています。	2回以上を目途に清潔な体を維持するように支援し	
46		て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	居室の温度や湿度等環境に配慮し、ご本人が安眠できるような寝具や湯たんぽを使用して頂いています。眠れない時には話を聞くなどし無理に就寝を促すのではなくご本人のペースを大切にしています。 日中は身体状況に応じて休息をして頂いています。		
47		一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	個別ケース記録に処方薬の情報を添付し、スタッフが常に見ることが出来るようにし、薬の目的や副作用、用法や用量についての理解や確認に努めている。処方薬の変更や服用の注意などは申し送りを活用し随時情報を共有し対応をしている。		
48		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人	生活歴や力を活用して、針仕事(雑巾縫い・チラシでつくるごみ箱折)雪かき、力仕事・洗濯物をたたむ・散歩に出かける・カラオケで歌を唄う等をとして気分転換や生活意欲に繋げるようにしています。		

自己	外部	外 部 評 価	自己評価	外部評価		
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
		けられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	通して戸外に出かけれるような支援を行っています。	でいます。散歩を毎日運動として継続する利用者も います。外出が困難な利用者は2階のテラスで外気		
50		おり、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持 したり使えるように支援している				
51	/		ご本人が電話をかけたいとの申し出がある時はいつでも対応できる支援を行っています。現在、手紙のやり取りはほとんどありません。			
52		くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないよ	共有空間の清掃、整理整頓に心がけ心地よく過ごせる環境つくりを行っています。共同スペースからはトイレや浴室が見えないようなブライバシィーにも配慮がなされています。利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮を行い、季節感を感じるように手作りの展示品を利用者と一緒につくり飾っています。	の長所が見られます。鉢植えや飾りつけ、壁面の利用、掲示物など、細かい配慮があります。さらに、ゆったりとした居間と食堂、肘掛椅子の設置、利用者が落ち着いて安心して、居心地よく暮らしていま		
53	$ \ $	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	ソファーやテーブルの位置を工夫したり、りクライングを配置し気の合った方たちと隣に座り交流できる空間つくりをしています。体調によっては居室で休んで頂く支援を行っています。			
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	(介護ベットなど)	印があります。居室内はそれぞれが馴染みの家具を		
55	$ \ $	建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかるこ	建物内はバリアフリーになっています。手すり等を 設置しており、利用者一人一人が安全かつ出来るだ け自立した生活を送れるように努めています。			